

## <取材のお願い>

2022年11月4日

金沢大学

JST さくらサイエンスプログラム推進本部

### インドネシアの大学生が希少野生動物を象徴種とした生物共生農業を学ぶ ～コツメカワウソと共生できる農業を目指した国際共同研究を目指して～

金沢大学では11月7日(月)～11月20日(日)、アンダラス大学(インドネシア)から大学生9名、教員1名、計10名を招き、生物共生農業の構築に向けた共同研究プログラムを行います。

インドネシアを含むアジアの農村地帯では、農薬・化学物質を多用した集約農業の普及に伴い、水生・陸生動物の多様性が減少し、それらを餌とする大型野生動物の絶滅が危惧されています。水田は米生産の場としてだけでなく、生物多様性保全の場としても重要な機能を有するため、農業活動と生物多様性保全を両立させる持続型生物共生農業の取り組みが求められます。

新潟県佐渡島では、トキを象徴種とした生物共生農業が国際的に認められ、2011年に国際連合食糧農業機関によって世界農業遺産に認定されました。佐渡島での取り組みは、今後インドネシアの農村地帯でコツメカワウソなどの希少野生動物を象徴種とした生物共生農業を進める際のモデルになります。本プログラムではインドネシアの大学生たちが本校の学生とともに実際に佐渡島を訪問し、トキの保護施設の視察や認証水田で生物調査を行います。また、白山自然保護センターでは、里山の野生動物への発信器の装着方法や個体の追跡方法、行動データの解析技術(バイオロギング)を学びます。プログラム実施後に、生態学と経済学の視点からインドネシア農村でのコツメカワウソを象徴種とした生物共生農業の構築に関わる国際共同研究の新展開を図ることを目指します。

本プログラムは科学技術振興機構(JST)主催の「国際青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプログラム)」\*に採択されたものです。2021年度にも採択をされていたもののCovid-19の影響で招へいがかなわず、オンラインに切り替えての実施になりました。

つきましては、招へい学生が佐渡島や白山自然保護センターにて活動する様子や、本校の学生とともに意見交換を行う様子、成果発表の様子などを取材して頂きたいようお願い申し上げます。なお、参加者をはじめ、実施担当の西川潮准教授へのインタビュー取材もアレンジが可能です。ご希望の方は担当者までご連絡ください。

### 【実施内容】

- 白山自然保護センターでのバイオリギングに関する実習
- 佐渡市の水田にて野外調査
- 試料分析・データ解析
- 矢田農園での農業研修
- 白山ユネスコエコパーク、佐渡世界農業遺産での文化研修
- 農家対象のアンケート設計
- 成果発表・意見交換

### 【研修日程概要】

- |           |    |                           |
|-----------|----|---------------------------|
| 11月7日(月)  | 午前 | 入国                        |
|           | 午後 | オリエンテーション                 |
| 11月8日(火)  | 午前 | 白山市へ移動                    |
|           | 午後 | 白山自然保護センター中宮展示館、白川郷訪問     |
| 11月9日(水)  | 午前 | 国際共同研究に向けた意見交換会           |
|           | 午後 | 新潟市へ移動                    |
| 11月10日(木) | 午前 | 佐渡市へ移動                    |
|           |    | 矢田農園にて農業研修                |
|           | 午後 | トキの森公園の施設見学               |
|           |    | 講義「トキを象徴種とした生物共生農業」       |
| 11月11日(金) | 午前 | 佐渡トキ保護センターの施設見学           |
|           | 午後 | 佐渡市の水田にて野外調査、試料分析         |
| 11月12日(土) | 午前 | 佐渡市の水田にて野外調査(予備日)         |
|           |    | データ解析                     |
|           | 午後 | 潮津の里にて工芸研修、はんぎり、宿根木、万畳敷訪問 |
| 11月13日(日) | 午前 | 史跡佐渡金山訪問                  |
|           | 午後 | 金沢市へ移動                    |
| 11月14日(月) | 午前 | 白山市へ移動                    |
|           | 午後 | 白山自然保護センターにてバイオリギングに関する実習 |
| 11月15日(火) | 午前 | 文献調査                      |
|           | 午後 | データ解析                     |
| 11月16日(水) | 午前 | グループ討論                    |
|           | 午後 | データ解析・成果まとめ               |
|           |    | 意見交換会                     |
| 11月17日(木) | 午前 | 講義「環境保全型農業の取り組みの経済評価」     |

- 午後 農家対象のアンケート設計  
成果まとめ
- 11月18日(金) 午前 成果発表  
午後 プログラム修了証授与  
金沢市内へ移動
- 11月19日(土) 午前 金沢市内散策  
午後 金沢市内散策
- 11月20日(日) 午前 帰国

\* 「国際青少年サイエンス 交流事業 (さくらサイエンスプログラム)」

科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。

<https://ssp.jst.go.jp/>



---

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

金沢大学環日本海域環境研究センター  
(担当：西川)

■国際青少年サイエンス 交流事業 (さくらサイエンスプログラム) に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室  
(担当：田中(禎)、太田)